

医療法人社団慈弘会

http://www.jikoukai.org/



森クリニック
 〒089-2104 大樹町字大樹6-22
 TEL 01558-6-5811

内科・循環器・心臓サウンズもりクリニック
 〒080-0028 帯広市西18条南3丁目1-21
 TEL 0155-58-5077

The Heart Times



医療法人社団慈弘会
 ハートサウンズもりクリニック
 理事長・院長 森 光弘

二〇一六年、新年あけましておめでとうございませう。
 今年の干支は「丙申(ひのえさる)」。六十年に一度の年で、「物事が変化し、形となって見えてくる」年だそうです。

昨年九月より長崎大学循環器内科の先輩である植山千秋先生を森クリニック第三代院長としてお迎えすることができました。

平成二六年五月より一年有余にわたり、常勤の院長不在という長い期間が続きました。永遠に続く雌伏の時間でした。大樹町内外では存続を危ぶむようなうわさもあつたようです。しかしながら、森クリニックの職員は、必ず立派な先生が現れることを誰ひとり疑う者はいませんでした。その日を信じてながら、励ましあい、黙々と日々の業務に専念してきました。

新院長を失望させないために、まず私たちができるひとつひとつの課題を解決するためにさまざまに活動をしました。役職者研修の徹底、森クリニックとハートサウンズもりクリニック合同の運営三委員会の開催、診療報酬対策会議での担当者プレゼンの技量向上。そして、何よりも師長・主任の懸命で自主的な営業活動などなど。

このような活動に支えられ難難辛苦の坂道を登りきった時に、夢に見たあの「坂の上の雲」(司馬遼太郎作品)のような暖かい心の持ち主である植山ドクターにめぐり合うことができました。森クリニックの職員は、一人も落伍することなく心待ちにしたその日をむかえることができましたのです。

胸を張って言えます。「**団結こそが不可能を可能にする**」と。「**団結**」「**信じる**」という言葉が、神仏が私たちに与えた課題だったのです。このとき味わったつらさを終生忘れないでいましょう。この言葉は、皆さん一人ひとりの人生や家族にも通じます。なにがあっても**お互いがお互いを信じ切るという強さがあれば、夢は必ず叶う**ということですよ。今年も慈弘会の核心的価値観五項目を規範として、「全ては患者様のために」そして、「**not doing but being**」をテーマとして、邁進する所存です。ご協力、ご鞭撻を頂きますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。



森クリニック
 院長 植山千秋

皆様、明けましておめでとうございませう。長崎(九州)から大樹町の森クリニックに入職後、早いものでもう四ヶ月が過ぎてしまいました。

「北海道は寒いですよ」と脅されていましたが、「雪も降りますし、確かに気温も氷点下の世界」です。しかし家やクリニックの中は暖房があり、寒いのは外を歩く時だけ、太陽が顔を出すとおしろ心地よい感じすらします。

さて診療面ではどうか？慢性腎不全の血液透析治療。生命を維持するために必要な腎臓が機能しないために、尿毒物質の排除、血圧やカリウム、カルシウム、リンなどの電解質管理を人為的に行わなければなりません。患者さんひとりひとりで病態が異なるので、なかなか奥深いですが、南十勝唯一の透析治療施設としてスタッフ皆さんの力をお借りして頑張っております。

最後になりましたが、私は**卒後、循環器、特に不整脈の診療に、また最近では認知症を含めた老年病の診療にも係わって参りました。**本年はこの分野でも皆様の健康維持のお役に立てできればと考えております。

今年も よろしくお願ひ申し上げます

帯広

大樹

心筋梗塞にご用心

気温が低下すると、身体は血管を収縮させて体温を維持しようとし、血行不全を起こします。血流を維持しようと血圧が上昇してしまうため、冬場は高血圧になってしまい心筋梗塞を発症しやすくなります。

大樹・帯広両クリニックでは「血管の硬さ・詰まり・年齢」を測定することが出来ます。予防のためにも定期的な検査をおススメします。

スタッフまでお気軽にお問合せください。

あとがき

「申」は「伸びる」が語源。「屈伸する体」↓「体が軽快に動き伸び伸びしている」ことから動物の「猿」があてはめられました。また「これまでの行いや努力が形になる」年と言われています。目標を達成できる一年にしたいですね。

ちなみに申年に**赤い肌着**は日本各地で言い伝えがありますが、北海道では「申と書かれた新しい肌着を身に付けると病が治る」「赤色で年下の女性から送られるのがよい」そうです。